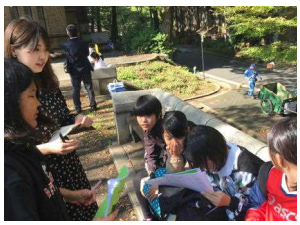
『島発ち教育』推進事業
東大訪問＆交流・ディズニー研修

令和２年（2020 年）
１月６日（月）
第７号

教育委員会たより
シャイニング

文　責
伊平屋村
教育委員会
金子　智彰

東大訪問＆交流
児童生徒企画運営による交流会



去る十月三十日（水）から十一月一日（金）の三日間、島発ち教育推進事業として取り組んでいる「東大訪問＆交流」と「ディズニー流『おもてなし』の極意を学ぶ」研修が行われました。参加対象は、小学六年生と中学三年生です。

初日午前中は、「東大訪問＆交流」で東大キャンパス散策及び、東大生と児童生徒の交流会を行いました。

教職員及び教育委員会の総勢四十三名が参加しました。

安田講堂前での記念撮影後、小中学生が七班に分かれ、東大生が大学の魅力や歴史的にどのような場所なのかを等を散策しながら紹介してくれました。今年は東大生の計らいで東大図書館を見学することができ、その雰囲気に圧倒されました。

小学生との交流会では、夏の興奮気味に感想を話す児童生徒が多かったように感じました。

また、小学生と中学生は、小学生同様、夏以降に挙がってきたグループごとの「東京大学」「人生」「地元を離れての生活」「高校」に対し、東大塾で学んだことを二学期の生活に反映させて取り組み、その中での新たな質問と課題解決に対しての意見を交換の場となりました。中には、夏の問題プリントを